市政を問う 一般質問



9月定例会では、8月27日、28日に6名の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と市長を始めとする市当局の答弁(要旨)は次のとおりです。

※質問、答弁の詳細は11月20日頃から半田図書館・亀崎図書館等に配置される会議録でご覧いただけます。また、12月上旬には、市のホームページでもご覧いただけます。
※議員ごとにYou Tubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

※質問者の写真右上のマークは、質問の内容を表しています。(子【子育て】、教【教育】、福【福祉】、ま【まちづくり】、産【産業】、観【観光】、他【その他】)

会議録へ

子 福 有留麻由(無所属)



地域にとって魅力ある放課後ひろばに

問 亀崎小学校放課後ひろばを平日の午前中に開設しない理由を伺います。

答 亀崎地域に未就学児の親子が利用できる地域子育て支援拠点があるためです。

問 現在の体制で、保護者の要望に十分に応えられたと考えていますか。

答 ニーズに応えられたかの判断は難しいですが、既存施設を充実させ、それを周知しながらひとつずつ応えていきたいと考えています。

問 地域とのつながりを大切にするため、放課後ひろばの登録者の範囲を広げられますか。

答 安全面の重視を前提に運営状況を見ながら、協議会と相談し検討していきます。

支払いやすい国保税に

問 今後の放課後ひろばでは、地域の実情に応じた柔軟な対応を求めます。

答 既存の運営体制を基本に、計画段階から地域との対話を大切にし、地域に寄り添った柔軟な対応に努めます。

問 令和9年度の国保税を抑えるため基金の活用を求めます。

答 急激な負担増となる場合は、運営協議会にも意見を伺い、基金残高や繰越金の状況を見ながら判断します。

問 国保加入世帯への子育て支援策として、子どもの均等割0(ゼロ)を求めます。

答 子育て支援策には様々な方法があり、国保の均等割軽減を特に優先して行う考えはありません。



福 岩田玲子(創造みらい半田)



自分らしく生きるための「人生会議」とエンディングノート

問 厚生労働省は、もしもの時に望む生き方を前もって話し合っておく人生会議を推進しています。半田市には、話し合いの結果を整理して書き留める「医療・ケアについての私の事前指示書」がありますが、市民へのさらなる周知と活用をどのように図っていきますか。

答 市報やホームページ、イベントなどでの従来の周知に加え、今年は図書館において人生会議に関するパネル展示、事前指示書や関連図書の紹介を予定しています。今後も市民の皆様やその家族、医療・介護従事者に対し、人生会議の重要性を広く周知するとともに、事前指示書のさらなる活用を推進していきます。

問 「事前指示書」を終末期の治療希望や過ごし方に加え、家族や大切な人に伝えておきたいこと、連絡をして欲しい人、渡したい物、臓器提供、葬儀、供養や遺言について書き記せる、人生会議ノートのような様式にリニューアルして欲しいと考えますが見解を伺います。

答 他市町の取組みを十分に調査研究し、医療・介護の関係者とともに、項目追加や名称の変更を含め検討していきます。

問 県内16市町村が配布しているエンディングノートを作成する考えはありますか。

答 新たに独自のエンディングノートを作成する考えはありませんが、今後は「事前指示書」の改定を検討し、人生会議のさらなる周知、啓発に注力していきます。

